

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター ひばり園

公表日 令和7年2月17日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・4対1対応だが、2人多い職員配置となっており、支援が手厚く出来るように工夫されていると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・保育室はシンプルに構造化されており、集中して課題に取り組めるように工夫されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・走って良い場所など部屋を決めている事は、子どもたちにとっても分かりやすくして良いと感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・スヌーズレン室等、クールダウン出来る部屋があり、個別の対応も可能な環境があり、工夫されていると思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・朝に職員会議があり、振り返りや次回の改善点など、明確に話し合いが出来ていると感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝の会で、悩みや支援方法など職員間で話し合うことができている。また事例検討などの時間を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	・虐待防止委員会開催に合わせて3月に外部視察が入る予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・法人での研修やリモートでの研修もあり、沢山の機会が確保されていると感じる。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・遠城寺、TASPを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・年度当初、年間計画にて立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・職員研修等で勉強し意見を出し合いながら日々内容を考え工夫している。 ・自主研修を行い、その中でプログラムについて皆で共有、話し合いをしている。 ・いろんな職員が保育を展開できるように研修を通じて共通理解を図る機会があり、工夫されていると思う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・毎朝、職員会議にて話し合い、共通理解している。 ・短時間職員がいるため次の朝、皆で振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・個別記録を毎日記入し、振り返っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・6ヶ月以内に見直しして支援計画書を作成している。 ・半年ごとに行っています。 ・半年に1回必ずモニタリングを行うように工夫されている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・保育所等訪問で子どもの状態を伝え合い共通理解を図っている。 ・併行通園の保育所等訪問を実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・就学前の時期2、3月中に担当者会議を開き、今後の方針を話合っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	9	0	・自立支援協議会の子ども支援部会や通所事業所連絡会等に参加している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0	・毎月、子ども支援部会に出席している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	・今年度も交流保育を近隣保育所で行った。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・親子通園の為、保護者とは常に子どもの事を伝えたり、相談にのったりできている。 ・朝の職員会議で、利用者について検討する機会が設けられており、共通理解が図りやすい環境だと思う。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・ペアレント・トレーニングを年長児10セッション、年長児以外は3セッション行い、年中児ペアレント・プログラム7セッションを行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		・面談希望者に面談を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0		・今年度は夏まつりや家族通園日（6月、12月）を通して、きょうだい児の参加を促し、多くの家族が楽しんでいた。 ・保護者の希望により2か月に1回「親の会」を行っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		・毎月、園だよりを発行し、行事等お知らせしている。 ・「ひばり園だより」を毎月1回発行している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		・入園前に同意書をいただき、留意している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		・視覚支援を取り入れている。 ・朝の連絡会で保護者に伝達する。 ・急な連絡はLINEを使用。 ・絵カードなどの視覚支援を行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		・コロナで中止していたが、毎年法人が夏まつりや秋まつり等地域の人を呼んで行っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		・BCPを職員全員携帯し、災害に備えている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		・入園前にシミュレーションを行い、職員の動きなど確認している。 ・入園前に聞き取りを行っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		・入園時にアレルギー検査の有無の書類を提出してもらおう。栄養士と個別面談する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		・安全管理マニュアルをもとに、毎日チェックしている。 ・園内のチェック場所に担当を設け、作成した安全チェック表に日々記載し、安全管理を心がけています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		・インシデント報告書を作成し（PCに入力する）、朝の職員会議で全員に周知している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		・法人内で定期的に虐待防止研修を受けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		・ぼんびグループの子のみ行っている。計画書の更新の度に確認を行っている。 ・法人が委員会を定期的に行い、出席している。